

# アルミ溶湯 自動配湯台車システム

特許  
取得済

## 概要

集中溶解炉で溶かされた溶湯は、多くのところでフォークリフト搬送により取鍋を傾動して各手許炉に配湯されています。フォーク配湯ではオペレーター搬送中の湯こぼれなどが懸念され、対策として密閉容器での配湯や自動配湯装置のニーズが近年高まっています。

自動搬送により人的災害を無くし、密閉容器での搬送は災害リスクの軽減につながり、安全な作業環境を作ります。

また、取鍋内の残湯量をロードセルで検知し加圧をコントロールすることでスムーズな配湯を実現します。加圧蓋は脱着式で取鍋内の溶湯の管理も容易に出来ます。

## 特長

- 1 人的災害への対策と安全環境の実現
- 2 密閉容器での搬送で湯こぼれを防ぐ
- 3 配湯要求と重量設定で配湯をコントロール
- 4 重量制御で圧力をコントロールする加圧出湯方式
- 5 加圧蓋脱着式で溶湯の管理が容易

## 実績

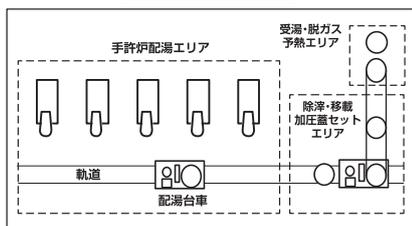
配湯能力	3,000kg/h (取鍋容量1,000kg×3回配湯/h)	出湯量	30kg~500kg/手許炉1基当たり
軌道台車	軌道70m・コンプレッサー積載・ トロリー給電・CC-Link通信	加圧出湯方式	規定重量による圧力可変制御

## 設備フロー

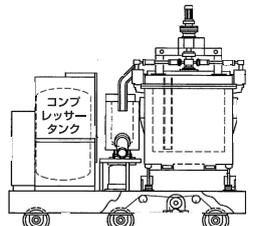
### 自動配湯フロー



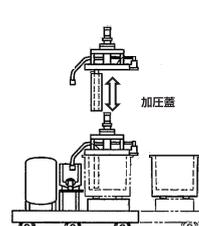
設備レイアウト



配湯台車



加圧蓋セット図



取鍋移載レイアウト図

